

これからの予定



★紙芝居ステップアップ講座 講師 松井エイコさん

日時 2026年1月24日（土）
13時から16時（予定）
定員 40名予定
場所 日進市ワンダースクエアドリームズ

内容 2025年1月～3月に行った連続講座から
1年が経ちます。
実演するなかで、新たな疑問を解決し、
もっと紙芝居の実演を深める講座です。

対象 2025年連続講座受講者を優先としますが、
文化の会会員、一般の方も受け付けます。

詳しい申込等は、ご連絡します。お楽しみに！

★紙芝居文化の会 あいち 10年誌

紙芝居文化の会あいちも10年になります。
現在、記念誌を編集中です。
会員のみなさまにもアンケートをお願いします。
ご協力お願いします。

★紙芝居講座

・8/30 西尾市 学校図書館を考える会・あいち

★紙芝居はうす日程

基本、第2月曜日 10時～16時
(注)8月はお休みです
Zoomは10月の14時～15時半予定。
※予定変更もあります。お問い合わせください。

コラム 《ま・間・ま》

先日『クマのプーさん』の読書会をした。参加者は文学好きか読み聞かせの経験者。この本はA・A・ミルンの自分の息子とぬいぐるみが織りなす魔法の森でのゆかいな話。ところが「楽しめなかつた」という感想が大勢。読み聞かせた時も失敗したという報告もあった。石井桃子さんは原書を予備知識なしで子どもに読み聞かせ、笑い転げて喜んだと翻訳への動機を記している。なぜ、私たちは楽しめないので？なのに「プーさん」は誰もが知っている！中高校生のバッグにはぬいぐるみがぶら下がっている。更に驚いた情報に出会った。ぬいぐるみを預かって世界旅行をするという代理業者があると！ぬいぐるみがホテルで食事をし、窓から景色を眺める。その様子を動画で見せてもらう。魔法の国への誘いを業者頼み！私たちは紙芝居舞台を魔法の箱と言って、子どもたちを魔法の国へ誘おうとしている。そこには生のコミュニケーションがあっての行為ではないだろうか。

紙芝居文化の会 あいち とは

こんなことやりたい

- ・通信を発行します
- ・紙芝居講座を開催します
- ・情報交換をします

会員になるには

紙芝居文化の会にご入会下さい

詳しくは、紙芝居文化の会

<http://www.kamishibai-ikaja.com/>

または、下記連絡先まで

紙芝居文化の会あいちの会費は不要です

愛知県内だけでなく近隣の方々もご参加下さい

連絡先

〒470-0126 日進市赤池町村東149

紙芝居文化の会あいち代表 近藤洋子

電話 052-801-5794

kon18115@mb.ccnw.ne.jp



紙芝居文化の会 あいち

第29号
2025.7



紙芝居文化の会とは

- ・紙芝居を愛する人
- ・紙芝居に興味のある人
- ・紙芝居を演じたい人
- ・さまざまな思いの人、海外の人とも
出会い、交流する場です。

(2001年創立 事務局東京都三鷹市)

★おおつかのりこさんをお招きして

(翻訳家・紙芝居文化の会運営委員)

3月10日（月）10時～17時

翻訳家の、おおつかのりこさんにお会いできました。市民ランナーで、名古屋ウイメンズマラソンに出場し完走されたとのこと。すごいエネルギーに感心しました。ご自分の心と体、感性を大切に英語を日本語に訳す難しいお仕事を楽しそうに語られる魅力的な方です。



初めて出版された『シャンプーなんて、だいきらい』は好き嫌いのはっきりした、特にシャンプーが大嫌いなうさぎの男の子が主人公です。あるきっかけで、その子が成長していく内容です。文、絵、訳が一体になって、ぜひ子どもたちに読み聞かせたいと思い手に入れました。

もう1冊『わたしのかぞく みんなのかぞく』も手に入れました。子どもたちそれぞれの家族の形が十人十色で「みんな、みんなが違っていいんだ」「それぞれの家族の愛の形」がつまつたいて、読んでいて楽しくなります。お薦めです。

『レイチェル・カーソン物語』鳥語（声）を英語にして、さらに日本語に訳す。色々な種類の鳥の鳴き声（訳すのが難しくて大変そう）が随所にあり、それをカタカナに訳す解釈力がすごいです。感動物です。リズミカルにあちらこちらで日本語（カタカナ）に訳した鳴き声が聴こえて、楽しいです。でも内容は問題提起で、環境保護運動に大きな影響を与えた生物学者で作家のレイチェル・カーソンの伝記です。勉強になります。これからも、おおつかのりこさんの訳本をたくさん読みたいと思っています。



★上原佐恵子さんをお招きして

(しづおか紙芝居研究会主宰・紙芝居文化の会運営委員)

4月14日（月）12時～17時

おはなし活動40年の上原佐恵子さんにお越しいただきました。前半はリクエスト紙芝居5作の実演。後半はパーソナルストーリー2話の語りです。

上原さんの紙芝居の感じ方は決して大げさな身振りがあるわけでもなく、声の高さを変えて話されている感じはしないのですが、ぐんぐんその物語の役柄だけではなく情景までもが伝わってきます。



『チンパンジーのおんがくかい』では1場面を抜いた直後、なにか空気がかわった感じがしました。朝の動物園の中に入っていたかのような語り口に鳥肌が立ちました。改めて画面を見てみると、ぎろりとにらむチンパンジーの顔、威厳さをリアルに感じました。『おとうさん』の太鼓を担いで登るシーンでは、今まで絵をじっくり味わっていなかったことに気づかされました。山々の険しさ、太鼓の重量感をも語り口調から読み取ることができました。耳から新たに絵のすばらしさを再発見させられました。

パーソナルストーリーとは、体験やエピソードを紹介するお話のことです。「自分が母から聞いた話、東京大空襲の話」では、私には全く未知のことなのに、頭の中で映画のシーンのように映像がはっきりと浮かんできたのです。新感覚でした。初めてお会いした方なのに、身近な体験談からは親近感すら覚えました。



上原さんのおはなしから共に想像した内容をみんなで話し、笑い、会話が弾んだことも紙芝居はうすのすてきな時間となりました。

☆名東図書館まつり たのしいかみしばい

6月21日（土）大人21名 こども27名

多人数で楽しみました。『かたつむりのうんち』には「へー」との声があがりました。季節もぴったり。『ごきげんのわるいコックさん』は、大人も楽しんでいました。

<プログラム>

- 『かっぱのすもう』
- 『もみもみ
- 『おいしゃさん』
- 『どんなうんちかな？』
- 『ごきげんのわるいコックさん』



☆豊田市紙芝居まーるの会

2月22日（土）こども図書室 大人11名こども11名

<プログラム>

- 『のはらにね』
- 『ポンコちゃんの おひなさま』
- 『たぬきの にゅうがくしき』
- 『はるるちゃんの はるがきた！』



4月26日（土）こども図書室 大人5名こども6名

<プログラム>

- 『こうちゃんの じどうしゃ』
- 『くわづにようぼう』
- 『おすわりやす いすどっせ』
- 『いやいやたまご』
- 『まってー』



各地の紙芝居のグループ、活動を紹介します。
情報をお知らせください。